

先物

(上野 俊夫 豊商事企画部部長)

私の好きな一文字

先物協会 ニュース

JCFIA マンスリー

JCFIA
JAPAN COMMODITY FUTURES
INDUSTRY ASSOCIATION

発行所 日本商品先物振興協会
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町9-9
☎(03)3664-5731 FAX(03)3664-5733
http://www.jcfia.gr.jp/

FUTURES PLAZA

2005年から完全実施となる手数料自由化が、国内の商品先物取引業界にとって大きな転換点となることは間違いない。同時に、ここが単なる通過点に留まらず新たな展開へ向けての出発点になる可能性が高いことも、衆目の一致するところと思われる。

また近年においては、IT化戦略に大成功を収めた欧州先物取引所の目覚ましい発展振りを見るにつけ、彼等の距離が更に拡大した感すら覚えています。

グローバル化は足元から

日本の商品先物取引は、江戸時代に起源を持つ歴史と日本独自の特色を有しており、いわゆる「グローバル化」は一朝一夕には実現しないと危惧する向きもあります。しかし、既にいくつかの新しい芽が出始めて



が、いわゆる「グローバル・スタンダード」として世界の先物市場をリードしています。そして、日本の商品先物業界が市場拡大を図るためには、否応なしに世界の先物市場と同じ場所に立つことを求められることになりました。

このように一大変革期において銘記すべきことは、顧客指向・市場指向が最大の命題であることです。ある意味では旧態依然たるテーマかもしれません。先物業界の鍵はこれに尽きるとも言えるでしょう。そして、このことを実現す

る方策の一つとして「グローバル化」は避けて通れない道筋なのです。絵に描いた餅ではなく、具体的な行動を迫られるのが、これからの数年となりそうです。

また既に開始された「T+1」に見られるように、商品先物取引のシステム自体にも欧米化という変革の波が押し寄せて来ています。

プロフィール

- 1950年 熊本県玉名郡生まれ
- 1976年 株式会社サンライズ貿易(現東京コムウェル)入社
- 1995年 100%出資子会社のサンライズ・アメリカ(米国シカゴ)取締役副社長
- 2002年 12月より秘書室勤務、現職に至る

商品先物「なっとく」セミナー開始

自己責任で投資を愉しむために

商品先物取引の新所得税制PR

先物協会は平成14年度事業として、全国各地で開く「商品先物なっとくセミナー」をスタートさせた。6月7日の東京商工会議所・国際会議場での開催を皮切りに年内に全国4都市で開き、商品先物取引の魅力を読み、市場参加を働きかける。



セミナー風景(6月7日東京商工会議所)

先物協会は平成14年度事業として、全国各地で開く「商品先物なっとくセミナー」をスタートさせた。6月7日の東京商工会議所・国際会議場での開催を皮切りに年内に全国4都市で開き、商品先物取引の魅力を読み、市場参加を働きかける。

商品先物取引に参加することによって経済全体が動いている実感を感じてほしい。

半歩先行く
オトナの投資術
UFJ総合研究所
主任研究員 山崎 元

全国7商品取引所で6月6日にT+1がスタートし、トラブルもなく円滑に運営されている。

商品先物取引の魅力を伝えることこそ、商品先物取引の本質であると思います。

平成15年度の税制改正で、さらに有利になりました。

「T+1」円滑にスタート
全国7取引所、個別システムで対応

東証取の立会場

商品先物取引の税制は株式取引のそれと比べるとかなりシンプルです。

新税制の仕組み

商品先物取引の税制は株式取引のそれと比べるとかなりシンプルです。

平成15年度の税制改正で、さらに有利になりました。

第2部

平成15年度の税制改正で、さらに有利になりました。

平成15年度の税制改正で、さらに有利になりました。

先物春秋

大阪証券取引所(大証)が証券取引法違反(相場操縦)の疑いで強制捜査を受けた。

平成15年度の税制改正で、さらに有利になりました。

大阪証券取引所(大証)が証券取引法違反(相場操縦)の疑いで強制捜査を受けた。